

# 化学物質の管理をはじめとして、 大気や水など地域の環境を守ります。

国内・国外を問わず、自然環境や人の健康に影響を与えうる有害な化学物質に関する関心はますます高まっています。日本やEU、アメリカをはじめとして、有害な化学物質の管理や使用に関する法規制が整備されてきましたが、シャチハタでもPRTR法<sup>\*</sup>の遵守をはじめ、化学物質管理に積極的に取り組んでいます。

<sup>\*</sup>「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」

## PRTR法への対応

シャチハタでは1999年のPRTRパイロット事業に参加した稲沢工場での調査対象化学物質数は11でした。その後、「可能な限り削減・代替に努める」、「有害な化学物質はできるだけ使用しない」ことを基本方針とし活動して参りました。2009年度はシャチハタTATのインキ配合を全面的に見直しリニューアルを図り、またXスタンパーゴムに使用されている可塑剤の変更を完了しました。2015年度はすべての化学物質の取扱い量が1tを下回り、届出が不要となりました。

化学物質の排出・移動量

物質名		パイロット調査 (2000年9月)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
エチレンジグリコール モノメチルエーテル	年間取扱い量 (kg)	3,299.6	(0.0)	(0.0)	(40.5)	(0.0)
	排出・移動量 (kg)	59.6	—	—	—	—
エチレンジグリコール モノエチルエーテル	年間取扱い量 (kg)	6,591.6	(191.2)	(193.1)	1009.6	(437.9)
	排出・移動量 (kg)	310	—	—	19.6	—
フタル酸 ジ-n-ブチル	年間取扱い量 (kg)	2,053.6	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	排出・移動量 (kg)	1,203.6	—	—	—	—
キシレン	年間取扱い量 (kg)	—	(284.4)	(373.1)	(402.6)	(412.3)
	排出・移動量 (kg)	—	—	—	—	—

( )は届出不要  
—:取扱・排出・移動量 1t以下

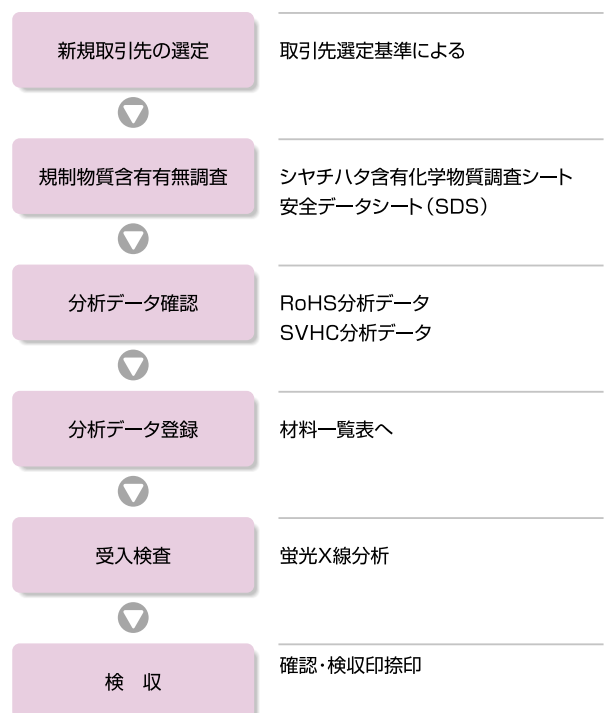
## 化学物質管理システムの推進

製品には性能向上や品質確保のため化学物質が使われています。しかし、一部の物質は製品の使用・廃棄段階で環境に悪影響を及ぼす恐れがあることから、各国・各地域で規制がなされています。シャチハタグループでは、これらの化学物質の厳格な管理と継続的な削減を図るため、「品質保証部」に環境化学物質チームを設置しています。取引先各社と連携しながら、「シャチハタグリーン調達システム」を使用して、化学物質のデータ管理、代替物質への切り替えを促進しています。

2007年度以降は、ヨーロッパ「RoHS指令」の原則使用禁止特定6物質<sup>\*1</sup>への対応を全工場で継続しております。すべての調達先に対して、部品を構成する材料・副資材に含まれる特定化学物質の調査を要請するとともに、監査を実施しています。このようなサプライチェーンでの混入防止システムを構築することで、特定化学物質非含有の保証体制を確立しています。

<sup>\*1</sup>：カドミウム、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル

購入材料化学物質管理フロー(例)





## 法令遵守状況

シヤチハタの生産拠点である稲沢工場は、愛知県稲沢市郊外の田園地帯に位置しています。

工場が立地する周辺の自然環境を守るため、関連する国の法律、愛知県の条例、協定を遵守することは当然として、より厳しい社内基準の達成をめざしています。

### 水質管理状況

稲沢工場から排出される排水の水質検査を年2回実施し、水質の管理状況を把握しています。

#### 水質管理状況

検査項目	排出基準(愛知県条例)	2015年5月	2015年11月
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	7.3	7.3
BOD(mg/l)	25以下	4.1	7.8
COD(mg/l)	25以下	3.9	9.9
SS(mg/l)	30以下	1	1
ノルマルヘキサン抽出物質(mg/l)	2以下	1未満	1未満
亜鉛含有量(mg/l)	2以下	0.2	0.1
電気伝導率(mg/l)	50以下	9.8	26

### 騒音管理状況

工場敷地境界線における騒音を測定し、管理しています。

#### 騒音管理状況

	〈昼間〉 規制値(dB)	2015年4月 測定値(dB)	2015年10月 測定値(dB)
A地点	60以下	51.6	49.7
B地点		51.6	49.0
C地点		54.5	46.7
D地点		53.8	52.4
E地点		58.1	54.7
F地点		54.8	52.6
G地点		53.3	48.5
H地点		53.6	57.1

### 振動管理状況

工場敷地境界線における振動を測定し、管理しています。

#### 振動管理状況

	〈昼間〉 規制値(dB)	2015年4月 測定値(dB)	2015年10月 測定値(dB)
A地点	65以下	39.7	31.7
B地点		35.1	33.2
C地点		35.1	31.9
D地点		37.7	34.6
E地点		35.6	32.4
F地点		31.9	31.9
G地点		43.4	36.4
H地点		38.7	40.1